

編 修 趣 意 書

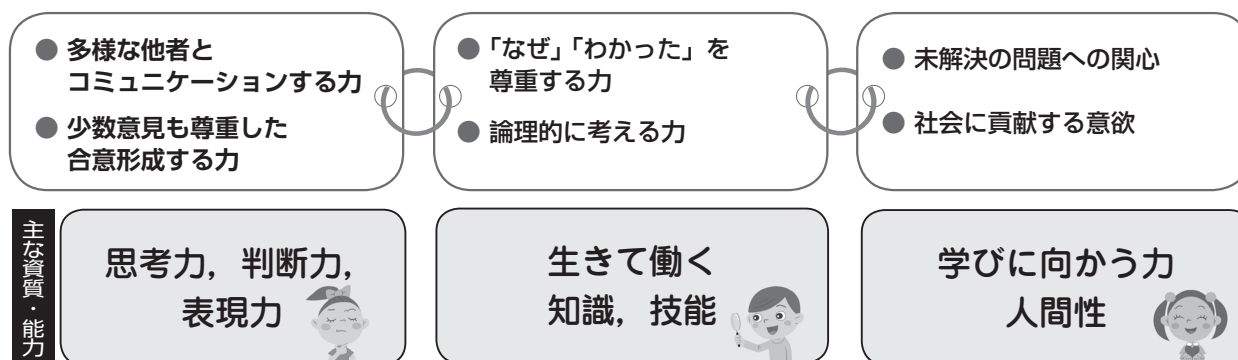
(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-161	小 学 校	理 科	理 科	5 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	理科 503	みんなと学ぶ 小学校理科		

1. 編修の基本方針

学校図書は、これからの社会の中で、子供たち一人ひとりが持続可能な社会の担い手として主体的に生きていくためには、個々の考えを尊重し問題解決をしてゆき、共に高め合う力の育成が重要だと考えました。本教科書では、教育基本法に示された教育の目標を達成し、下記を編修理念に据え、育てたい資質・能力を以下のように整理しました。

多様性を前提とした問題解決能力の育成



これらをもとに、以下の3つの特色のもとに、教科書を構成しています。

特色 1

問題解決の力を育てます。

- 見通しをもって、主体的に問題解決する力を育てる教科書
- 問題解決の流れを大事にした教科書
- 活用する力を伸ばす教科書

特色 2

理科の学力を確かにします。

- 知識及び技能が、確実に身につく教科書
- 系統的な学習を大事にした教科書
- 言語活動を促す教科書

特色 3

自然を愛する心情を養います。

- 生命を尊重し、自然環境を保全する態度を育てる教科書
- 持続可能な社会を大事にした教科書
- 防災・安全意識を高める教科書

1 問題解決の力を育てます。

1 見通しをもって、主体的に問題解決する力を育てる教科書

❖与えられる「問題」ではなく、子供が解決したくなるような導入や場面を設けました。

◎「8 もののとけ方」 p.142-143

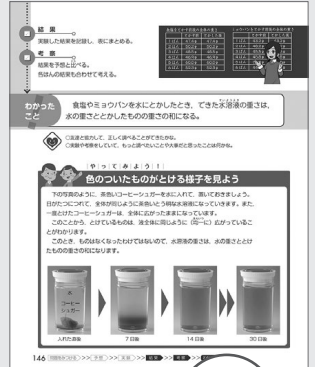


▶子供どうしが伝え合う中で、理科の見方・考え方を働かせて考えることができるように、既習内容や経験をもとに話し合う場面を設定しました。

p.144-145



p.146



導入

観察・実験

共に考える

新たな問いへ

●やってみて、知りたい、と興味をもつような導入で、子供の知りたいという意欲を引き出します。

●見るとき、伝えるときは、理科の見方・考え方もとに話し合います。

●観察や実験をした後の話し合いでは、学びを深めます。

2 問題解決の流れを大事にした教科書

❖問題解決の過程を繰り返し学びながら、自然な流れで問題を解決することができます。

◎「科学の芽を育てよう」：学年冒頭 p.4-5



◎「7 電流のはたらき」：単元の流れ p.124-126



学年冒頭

単元の流れ

●問題解決の過程を8つのステップに表し、学年冒頭に示しました。共に学び、深め合うように、それぞれ対応したキャラクターや資質・能力のマークで示し、本文と連携させています。

●学年冒頭で示した流れは、そのまま学習の流れになっています。頁左に示したステップは活動に沿って縦につながっており、更に活動や考える視点なども示しています。

3 活用する力を伸ばす教科書

※活動の中で学んだことを生かす場面を、随所に設けました。

◎「1 ふりこの運動」 p.14-15

このページでは、振り子の周期と長さの関係について説明し、実験の仕方を示している。教科書の「活用」欄には、学んだことを生かす場面が設けられている。

◎「7 電流のはたらき」 p.135

このページでは、コイルモーターの仕組みと製作方法を説明している。教科書の「活用」欄には、学んだことを生かす場面が設けられている。

学んだことをもとに、「コイルモーター」を作ります。

知識の活用

知識の活用

振りこの法則から、「1秒振りこ」を作ります。

特色

2

理科の学力を確かにします。

1 知識及び技能が、確実に身につく教科書

※学ぶことを確認してから学び、更に振り返ることで、確かな学びにつながります。

◎「5年生で学ぶこと」 p.2-3

このページでは、5年生で学ぶべき単元と内容をまとめた表が示されている。表には「生命」、「ものの性質」、「地球」、「電気やものはたらき」などの単元が記載されている。

1年の見通し

●領域別に単元ごとの学習内容を示します。そこで動かせる見方・考え方などにも触れています。

◎「5年生で学んだこと」 p.190-191

このページでは、5年生で学んだ内容をまとめた表が示されている。表には「生命」、「ものの性質」、「地球」、「電気やものはたらき」などの単元が記載されている。

1年間の振り返り

●学年末には、単元末で内容を整理して確認し、6年生へつなげます。

次の学年へ

2 言語活動を促す教科書

※説明活動を随所に設け、「わかったつもり」ではない、より深い学びにつながります。

◎「1 ふりこの運動」 p.16

このページでは、振り子の長さについて説明し、実験の仕方を示している。教科書の「活用」欄には、学んだことを生かす場面が設けられている。

●学びが、単なる暗記ではなく意味理解できているかを、具体的な場面や日常生活につなげた内容で説明することによって、もう一度振り返ったり、理解を深めたりすることができます。

③ 系統的な学習を大事にした教科書

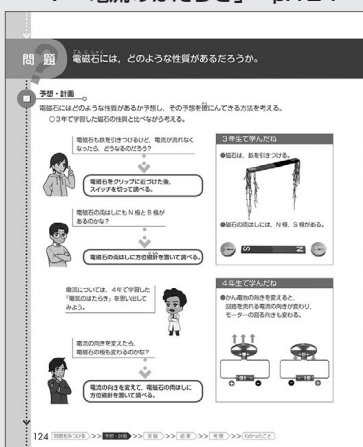
❖ 学年間、当該学年の中でつながりのある内容について、明示しました。

◎ 「5年生で学ぶこと」 p.2-3



● 目次 (p.1) 以外にも領域ごとに内容を明示することによって、似たような見方が使えないかと考えられるようにしました。

◎ 「7 電流のはたらき」 p.124



● 電磁石の性質を調べるときは、磁石と電気の性質を思い出せるようにしました。

特色

3

自然を愛する心情を養います。

① 生命を尊重し、自然環境を保全する態度を育てる教科書

◎ 「3 魚のたんじょう」 p.48



◎ 「9 人のたんじょう」 p.172-173



● 野生のメダカの調査や環境の保全、また自らの命に触れた経験と仕事とのつながりなどについて紹介しました。

② 持続可能な社会を大事にした教科書

❖ 生き物の共通性・多様性・連続性などを実感できるよう、具体的な活動や資料を設けています。

◎ 「9 人のたんじょう」：いろいろな動物のうまれ方 p.168



● いろいろな生き物を紹介し、生物の多様性を伝えます。

◎ 「9 人のたんじょう」：生命のつながり p.170



● 生物の共通性や連続性について、考える場面を設けました。

3 防災・安全意識を高める教科書

すべての観察・実験等の活動について、防災・安全意識が高まるようにしました。

◎「理科室の使い方」：安全・防災

p.180-181



地震が起きたとき

- ① つくえの下にもぐるなどして、頭を守ります。
- ② 身をかくすところがない場合は、教科書やノートなどで頭をおい、できるだけ低いせいをとります。
- ③ 火のそばからはなれます。火はゆれがおさまってから消します。



安全に観察・実験を行うために、活動中に災害が起きた場合などを想定し、安全のために具体的な対処を記載しています。

2. 教育基本法との対照表

教育基本法 第2条	意を用いた点や特色	箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習内容をより深いものにするための知識や技能などをわかりやすく掲載するとともに、説明活動などの知識を活用する場を設けることにより、意欲を高め、学習内容が定着するよう配慮した。 ● 観察する生き物との関わりの中で、命についての愛情や配慮について学び、観察している対象や共に学ぶ仲間など、相手の立場になって考える豊かな情操と道徳心を養えるよう配慮した。 ● 導入を屋外で児童が活動している様子を提示することにより、意欲を喚起し、積極的な活動により、健やかな身体を養うよう配慮した。 ● 学習内容に関連した資料や、科学者などの言葉を通して、少数意見も含めた多様な考えも尊重し、自己の学びや考えを深めてゆける、豊かな情操を育むよう配慮した。 	表2-1, 2-5, 38-51, 60-61, 64-77, 78-83,89, 93,159, 160-173, 174-192
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習を生かしたもの作りなどにおいて、個人の創造性を育むとともに、お互いの交流を通して個々の価値を認め、更なる意欲につなげられるよう配慮した。 ● 身近な生活や仕事などと関連した教材を示し、学習内容とのつながりを持たせ、更なる興味を呼び起こし、学びを広げられるよう配慮した。 ● 暮らしや仕事に生かされている内容との関連をはかり、理科の学習の有用性を実感できるように配慮した。 	15-16, 34,37,48, 55,60-61, 75,77,89, 90-93, 134-135, 173
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 4人の成長するキャラクターと学年ごと1人の博士を設定し、協力して課題を解決していく様子を示すことにより、自他を敬愛し協力を重んずる態度の育成に配慮した。 ● 活動写真に、男女のグループ写真を掲載し、協力しながら学習を行う様子を示すことにより、男女平等と協力の心をはぐくむよう配慮した。 ● 学習において公共施設の活用を積極的に行うことにより、社会への積極的な参画に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。 	6-173, 62, 101-102, 174
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 責任をもって育てる、観察する生き物への配慮を意識するなどの活動を通して、生命尊重、環境保全の心を育てるよう配慮した。 ● 自然への配慮を呼びかけるだけではなく、自分にできることなどを考えさせることにより、持続可能な社会づくりに貢献できる態度を育成できるよう配慮した。 ● 生き物などの立場になって考える、想像力を働かせるなどの投げかけにより、実感を伴って命を大切にする心を養うことができるよう配慮した。 	18-49, 64-77, 160-173
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習内容に関連し、かつ生活や文化に関連するものを、国内外扱うことにより、自国を愛し、他国を尊重する態度を養うよう配慮した。 ● 様々な地域の写真を扱うことにより、自他共に尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮した。 	17,25,35, 50-51, 84,88, 94-119, 155,159

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-161	小 学 校	理 科	理 科	5 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	理科 503	みんなと学ぶ 小学校理科		

1. 編修上特に意を用いた特色

特色

1 科学の芽が育つ教科書

① 学びの中でつけたい資質・能力を示しました。

❖ 自らが見つけた問題に対して、どういう見方や考え方をすれば解決に向かうのか、理科ではどのような力を養うことができるのか。問題解決の流れに沿って、8つのステップにまとめ、それぞれの内容に合わせてつけたい資質・能力をマークで示しました。



知識・技能

正しく使う
整理して調べる
情報を集める

思考・判断・表現

問題を見つける
結果を予想する
計画を立てる
整理しまとめる
図や表、グラフから考える
関係つけて考える
学びを伝える
条件をそろえ計画する

学びに向かう力・人間性

② その中で、単元の中で主に育てたい資質・能力も、それぞれ明示しています。

❖ 上記の学年でつけたい資質・能力の中から、各単元の冒頭で3つずつキャラクターとともに示しています。更に、学習後にはそれらの観点で学びを振り返ります。



◎ 「2 種子の発芽と成長」

p.18-19

●単元冒頭



●学習後



p.37

2 対話を通して深く学べる教科書

1 自分の驚きを伝えたいという思いが、科学の芽を育みます。

❖自分の驚きや発見を伝えたい、その思いが表現力を育みます。

2 ふりこの法則

問題 ふりが1往復する時間は、何によって変わるのだろうか

予想
これまで学んだことなどをもとに、ふりが1往復する時間は、何によって変わるか予想しよう。
ふりが1往復する時間は、ふりの長さによって変わる。ふりが長いほど、1往復する時間は長くなる。また、おもりの重さによって変わる。おもりの重さが増えれば、1往復する時間は長くなる。

計画
「ふりが1往復する時間が、どの条件に依存しているか」を調べる実験をするとき、調べたい条件を一つ決めよう。その他の条件は同じにする。

条件をそろえよう

ふりが1往復する時間は、おもりの重さと関係しているか

ふりの長さによって関係しているか

おもりの重さを変えて、ふりが1往復する時間を調べよう

ふりの長さを45cm、30cm、15cmにする。おもりの重さは10g、20g、30gとする。

結果

結果をまとめ、ふりが1往復する時間を調べる。

ふりが1往復する時間は、ふりの長さによって関係しているか

ふりの長さ	1往復する時間	1往復する時間	1往復する時間
30cm	10秒	10秒	10秒
45cm	15秒	15秒	15秒
60cm	20秒	20秒	20秒

ふりが1往復する時間は、おもりの重さと関係しているか

おもりの重さ	1往復する時間	1往復する時間	1往復する時間
10g	10秒	10秒	10秒
20g	10秒	10秒	10秒
30g	10秒	10秒	10秒

考察

結果をグラフで表し、比べよう。

ふりが1往復する時間は、ふりの長さによって関係しているか

ふりが1往復する時間は、ふりの長さによって関係している。おもりの重さによって関係していない。

ふりが1往復する時間は、ふりの長さによって変わる。ふりが長いほど、1往復する時間は長くなる。また、おもりの重さによって変わる。おもりの重さが増えれば、1往復する時間は長くなる。これを「ふりこの法則」という。

◎「1 ふりこの運動」 p.11-14

●5年では、予想や計画をした上で実験を行うことが多くなります。実験後は、結果と予想を比べて考察し、わかったことをまとめます。このように、子供たちが対話を通じて深く学べる場面を多く設けました。

2 説明活動で、「わかったつもり」が、「わかった！」に。

❖言葉だけの暗記、なんとなくの理解が、説明活動をする中で明らかになり、活動を振り返ることができます。

やってみよう！

気象情報をもとに天気を予想しよう

準備 気象情報やアメダスのこの雨情報などの気象情報

気象情報をもとに、自分の住んでいる地いきの明日(午前10時)の天気を予想する。

◎そのように予想した理由も説明できるようにする。

雲画像

アメダスのこの雨情報

雲は西から東へ動いていく。だから、自分の住んでいる地いきの明日の天気は…。

雨のふる地いきも西から東へ動いているから、明日の天気は…。

◎「5 雲と天気の変化」 p.91

3

たいさんは、ふりが1往復する時間とおもりの重さとの関係を調べるため、右の図のような実験そう置を作りました。しかし、このそう置では正しく調べることができません。それはなぜでしょうか。「ふりこの長さ」という言葉を使って説明してみましょう。

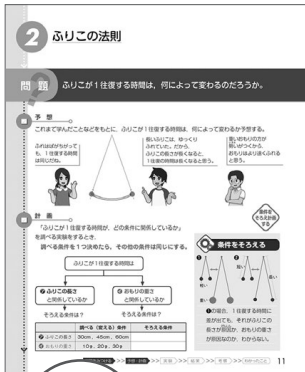
◎「1 ふりこの運動」 p.16

●学びが、単なる暗記ではなく意味理解できているかを、具体的な場面や日常生活につなげた内容で説明する活動で、もう一度振り返ったり、理解を深めたりすることができます。

●学んだことを生かして根拠のある予想をし、説明活動をするにより、学びが確かになったり新たな視点や気づきが得られたりします。

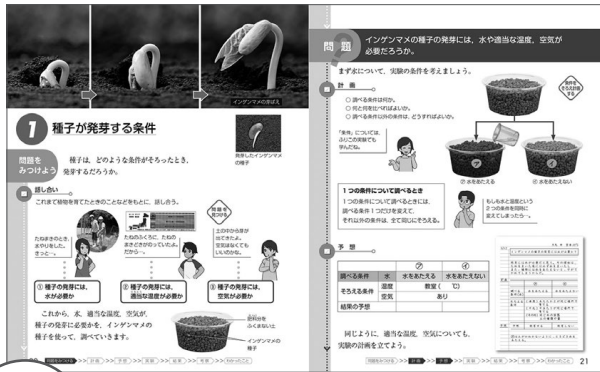
1 学んだことを、次の学びにつなげて生かします。

◆単元の中で完結するのではなく、あの考え方はここにも使えそうだなと生かすことができる子供を育てます。



ふりこの運動

p.11



種子の発芽と成長

p.20-21

●「ふりこの運動」では、調べる条件、そろえる条件を整理し、実験を計画します。

●「ふりこの運動」で学んだ考え方を、「種子の発芽と成長」での計画の手がかりとします。

2 暮らしや仕事などにつなげます。

暮らし

p.55

資料 天気の情報 暮らしに生きる

わたしたちは、テレビやインターネット、新聞などで、天気の様子を知ることができる。これらの情報（気象情報）は、気象衛星やアメダスなどから得られるデータをもとに作られている。

気象衛星ひまわり8号と9号
ひまわり8号は、2022年まで観測し、その後ひまわり9号が観測を行う予定である。

●気象衛星の雲画像
地球上の雲やその動く様子などの情報は、気象衛星から送られてくる。
新聞やテレビ、インターネットなどで見られる雲画像は、地上で受信したひまわりからの情報を、わかりやすい画像で表したものである。

●アメダスのこころ情報
全国各地には、自動気象観測所があります。ここでは雨の量などを自動的に観測して、その情報を気象庁に送っている。これを地いき気象観測システム（アメダス）という。テレビなどでは、アメダスのこころ情報をもとに日本各地の雨のふいている地いきを細かな四角に区切って、雨の量のちがいを色分けして示している。

自動気象観測所（群馬県 箕田村）
●気象情報は、インターネットやテレビ、新聞などから集める。
気象庁のホームページ 02503
179ページの「インターネットを活用する」をよく読む。

仕事

p.34

資料 日光を当てずに育てる 仕事に生きる

植物の成長には日光が必要であり、日光が当たらなかったインゲンマメのなえは、葉の色がうすくなりました。ネギをさいばいする農家では、植物のこの性質を利用して、白い部分の長いネギをつくっています。このようなネギを根菜ネギといいます。

根菜ネギのさいばい（埼玉県 深谷市）
なえのひてきたら土を密せる。
土におおわれた部分が、白くなる。

暮らし

防災

p.60

資料 台風の進路予想図とけい報 防災 暮らしに生きる

台風にはそれぞれ動きと強さに持ちようがあるため、台風の最新情報を知ることが大事です。

台風の進路予想の見方
風速 25m (秒速) 以上になると予報円考えられるはん
風速 15m (秒速) 以上のはん
予報円
台風の中心が進むと予想されているところ
現在の台風の中心
風速 15m (秒速) 以上のはん

気象庁では、災害に結びつくようなばげい現象が予想される場合、数日前からその後のきけん性に依じて「注意報」、「けい報」、「特別けい報」をだん階的に発表しています。「大雨特別けい報」が出たときは、ただちにひん情報にいたがって、自分の命を守る行動をとるようになります。

大雨注意報
大雨が続くと…
大雨けい報
さらにはげしく続く…
大雨特別けい報

●気象情報、台風情報や注意報、警報の読み取り方、根菜ネギの栽培など、暮らしや防災、仕事などに関わる内容を掲載し、理科で学習した内容が暮らしに繋がっていることがわかります。

4 安心して使える教科書

1 ユニバーサルデザインでわかりやすく、安全に器具の使い方を習得できます。

※すべての子供が、見通しを持って学習できるような、レイアウトの工夫や、内容の厳選を行っています。

火をつけるとき

- ✓

① 確認する

ガスコンロにボンベがセットされているか、確認する。
●ボンベが外れていたら、先生に知らせる。



ごとく ボンベ
- ✓

② のせる

ごとくの上に金あみをのせ、その上に温めるものをのせる。



金あみ
- ✓

③ 火をつける

調節つまみをカチッと音がするまで左に回し、火をつける。
●火がつかなかったら、「消」にもどしてやり直す。



調節つまみ
- ✓

④ 調節する

調節つまみをゆっくり右に回し、ほのおの大きさを調節する。


- ✓

⑤ 火を消す

調節つまみを「消」まで右に回し、火を消す。
●火が消えたばかりは熱くなっているため、コンロはさわらない。



注意 やくそく

○平らな安定したところへ置きます。

×燃えやすいものを、まわりに置けません。



×火がついているときは、持ち歩きません。



実験用ガスコンロのほのおが出ていた部分はとても熱くなっています。火を消したばかりの加熱器具は、すぐにさわらないようにしましょう。



- 今、どこまでできたかなどの時系列の関連をつかむことに難しさのある子供には、
 - ・1工程ごとに写真と対応させる。
 - ・できたらチェックして確認する。
 という方法が有効です。

◎「考えよう調べよう」実験用ガスコンロ

2 日々の防災意識につなげます。

話し合い

- 自分たちが住んでいる地帯で、川の水による災害について、取り掛かっていることがあるか。
- 自分たちが住んでいる地帯で、過去に災害が起きたことがあるか。
- 川の水による災害から、自分たちの命を守るために、何ができるか。

頼もって、ひなんする場所をこうおハザードマップで探してみよう。

家でも話し合いをしよう。

日ごろから準備しておくものは...

災害に備えるための資料 (愛媛県 松山市)

このハザードマップ(神奈川県 横浜市)

過去に起きた災害の資料 葛尾川 (神奈川県 横浜市)



観測所を、常に川の水位を調べる(埼玉県 久喜市)




暴れ川の記憶

○コンピュータなどを、正しく使って調べることができたかな？

○調べたり書いたりしていて、もっと調べたいことや疑問に思ったことは何か？

◎「●川と災害」 p.118

地震が起きたとき

- ① つくえの下にもぐるなどとして、頭を守ります。
- ① 身をかくすところがない場合は、教科書やノートなどで頭をおおい、できるだけ低いしせいをとりま。
- ① 火のそばからはなれます。火はゆれがおさまってから消します。



◎「考えよう調べよう」

- 学習した内容をそのまま終わらせるのではなく、自らの生活につなげる、日頃からの防災意識を持つなどの意識が大切だと考えました。
- 理科室などで地震が起きたときなど、どのような対応を取ればよいかを記載し、日頃から意識できるようにしています。

2. 対照表

単元名	学習指導要領	該当ページ	配当時数
1 ぷりこの運動	A(2) ア(ア), B(2) イ	6～17 ページ	10 (9)
2 種子の発芽と成長	B(1) ア(ア)(イ)(ウ), B(1) イ	18～37 ページ	14 (13)
3 魚のたんじょう	B(2) ア(ア), B(2) イ	38～51 ページ	9 (8)
●台風の接近	B(4) ア(ア)(イ), A(4) イ	52～61 ページ	4
●わたしの自由研究	B(1) ア(イ), B(1) イ	62～63 ページ	1
4 実や種子のでき方	B(1) ア(エ), B(1) イ	64～77 ページ	9
5 雲と天気の変化	B(4) ア(ア)(イ), B(4) イ	78～93 ページ	8 (7)
6 流れる水のはたらき	B(3) ア(ア)(イ)(ウ), B(3) イ	94～113 ページ	8
●川と災害	B(3) ア(ア)(イ)(ウ), B(3) イ	114～119 ページ	4
7 電流のはたらき	A(3) ア(ア)(イ), A(3) イ	120～137 ページ	12 (11)
●冬から春へ	B(4) ア(ア)(イ), B(4) イ	138～141 ページ	2 (1)
8 もののとけ方	A(1) ア(ア)(イ)(ウ), A(1) イ	142～158 ページ	15 (14)
科学者の伝記を読もう	B(1) ア(エ), B(1) イ	159	1
9 人のたんじょう	B(2) ア(イ), B(2) イ	160～173 ページ	8 (7)
考えよう調べよう	全	174～189 ページ	
総授業時数 (精選時数)			105 (97)

【各単元の構成】

●5年生で重視される問題解決の力を確実に身につけられるよう、配列及び内容を工夫しました。

1 ぷりこの運動では、「条件を制御する（という考え方）」を身につけるために、条件が制御しやすい「ぷりこ」を前に配置しました。また、実験誤差や有効数字についても扱いました。

2 種子の発芽と成長では、「ぷりこ」で身につけた「条件を制御する」を引き続き働かせて、発芽する条件や成長する条件を探ることができるように構成しました。

3 魚のたんじょうでは、資料性の高い写真や図版で構成しました。単元末では、生態系の保全に関わる話も載せています。

4 実や種子のでき方では、実ができる理由を、受粉実験をもとに考えることができるように構成しました。

5 雲と天気の変化では、インターネットやテレビなどの気象情報を活用して、天気を予想できるように構成しました。また、防災の観点から、台風情報や注意報・警報の読み取り方や局地的大雨の話も載せています。

6 流れる水のはたらきでは、流れる水の速さや水の量などの条件を制御しやすい装置をもとに、流れる水のはたらきを理解できるように構成しました。また、川と災害では、日々の防災意識を高めることができるように構成しました。

7 電流のはたらきでは、電磁石の強さを調べる実験では、調べる条件を整理した上で、計画、予想ができるように構成しました。また、実験結果のばらつきをならすために、算数との関連で「平均」を扱っています。

8 もののとけ方では、「粒子の保存性」の理解を中心に構成しました。「質量保存」を扱う「水溶液の重さ」を第1次に配置したのも、そのためです。

9 人のたんじょうでは、「魚の誕生」でも身につけた「時間的な視点」から単元を構成しました。また、単元末では「魚の誕生」や「実や種子のでき方」を踏まえて、「生命の連続性」が理解できる話を掲載しました。

考えよう調べようでは、5年生で学ぶ理科の見方・考え方を示すとともに、計測器具の使い方等、基礎技能をおさえることができるよう、構成しました。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30 - 161	小 学 校	理 科	理 科	5 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	理科 503	みんなと学ぶ 小学校 理科		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
48	野生のメダカを守る	1	5年B(2)ア(ア) 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえること。	1
75	より良いイネをつくる	1	5年B(1)ア(工) 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができること。	0.5
127	磁石になるコイル	1	5年A(3)ア(ア) 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極も変わること。	0.5
127	導線とコイルと電磁石	1	5年A(3)ア(ア) 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極も変わること。	0.5
133	磁石の力を見る	1	5年A(3)ア(イ) 電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わること。	0.75
135	コイルモーター	1	5年A(3)ア(ア) 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極も変わること。	1
139	冬の天気	1	5年B(4)ア(ア) 天気の変化は、雲の量や動きと関係があること	1
141	天気とわたしたちの暮らし	1	5年B(4)ア(ア) 天気の変化は、雲の量や動きと関係があること	1
156	食塩やミョウバンのつづ	1	5年A(1)ア(ウ) 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。	0.5
167	産声	2	5年B(2)ア(イ) 人は、母体内で成長して生まれること。	0.25
合 計				7.0

(「類型」欄の分類について)

- 1… 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2… 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容